

令和7年度

実施設計書

審査 設計者

工事番号
(設計書コード)

37-FE250-12-01-02

建設工事名

令和7年度（都再）市道青木藤枝線（藤枝四丁目）道路施設高質空間形成工事

路線河川名

青木藤枝線

建設工事箇所

藤枝市 藤枝四丁目 地内

建設工事金額

工期

令和8年2月27日限り

週休2日推進工事補正（月単位の週休2日（合計））

建設工事概要

施工延長	302.6	m
側溝工	43	m
舗装工	1690	m ²
道路付属施設工	1	式

歩掛・単価適用年度

令和7年6月

基本単価

令和7年6月

地区コード

220 地区

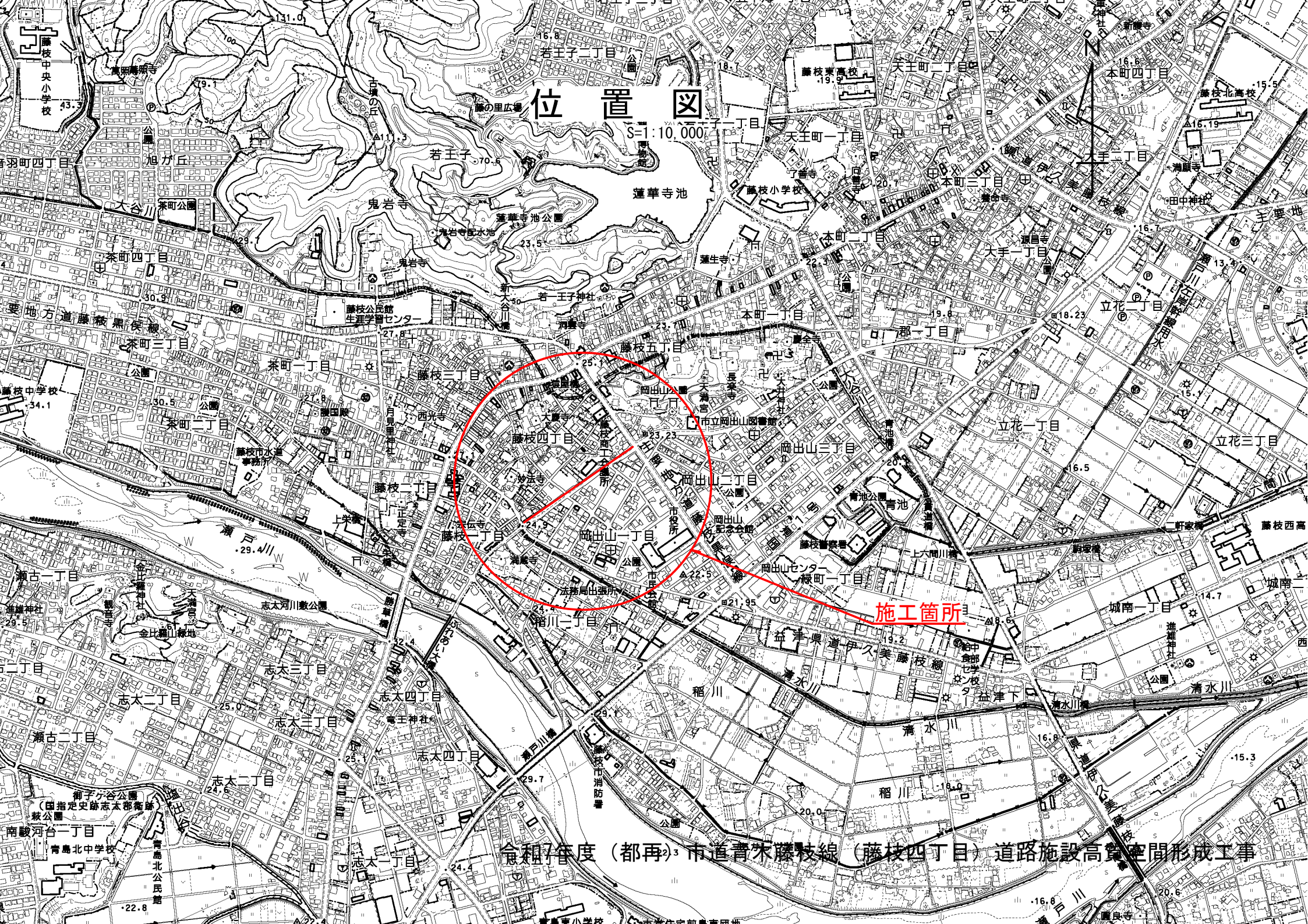
起終点指定

0 +0.00

⇔

302 +0.57

内訳表、施工単価表に記載されている機械の機種などは該当機種の使用を指定するものではなく設計上の参考である



位置図

S=1:10,000

施工箇所

令和7年度（都再²）市道青木藤枝線（藤枝四丁目）道路施設高質空間形成工事

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
本工事費					
- 舗装					
式	1				
-- 道路土工					
式	1				
--- 掘削工					
式	1				
---- 掘削					
m3	280				SP 1号表数量コードMC
--- 残土処理工					
式	1				
---- 残土運搬・処理 第2種建設発生土					M0001
m3	310				第 1号表数量コードZ10
-- 排水構造物工					
式	1				
--- 作業土工					
式	1				

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 床掘り	m ³	30			SP 3号表 数量コードZME
---- 埋戻し	m ³	10			M0100 数量コードZRb
--- 側溝工	式	1			
---- 路肩側溝工 φ150	m	43			M0008 数量コードSL
---- L型側溝	m	17			M0006 数量コードLS
--- 集水樹工	式	1			
---- 路肩側溝集水樹-11	箇所	1			M0009 第 6号表
-- 舗装工	式	1			
--- アスファルト舗装工	式	1			

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 下層路盤(車道・路肩部)	m ²	116			SP 12号表 数量コードKR
---- 上層路盤(車道・路肩部)	m ²	130			SP 13号表 数量コードJR
---- 表層(車道・路肩部)	m ²	222			SP 14号表 数量コードHY
---- 表層(歩道部)	m ²	18			仮舗装 SP 15号表 数量コードKH
---- 路盤(歩道部)	m ²	1,200			SP 16号表 数量コードHH
---- 路盤(歩道部)	m ²	274			乗入部 SP 17号表 数量コードHN
---- 特殊ブロック舗装 歩道	m ²	781			M0021 第 9号表 数量コードILH
---- 特殊ブロック舗装 歩道(乗入部)	m ²	185			M0022 第 10号表 数量コードILN
---- 特殊ブロック舗装 線路部	m	265			M0010 第 11号表 数量コードIS

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 特殊ブロック舗装 線路部（乗入部）	m	56			M0011 第 13号表 数量コードISN
---- L型止水テープ貼付け工	m	43			M0110 見積 第 15号表 数量コードSL
-- 縁石工	式	1			
--- 縁石工	式	1			
---- 歩車道境界ブロック	m	37			標準部（都市型街渠） SP 19号表 数量コードKB1
---- 歩車道境界ブロック	m	2			切下用斜ブロック（都市型街渠） SP 20号表 数量コードKB2
---- 歩車道境界ブロック	m	4			乗入部（都市型街渠） SP 21号表 数量コードKB3
---- 歩車道境界ブロック	m	2			平ブロック（都市型街渠） SP 22号表 数量コードKB4
---- 歩車道境界ブロック	m	1			切下用斜ブロック（L型側溝） SP 23号表 数量コードB2B

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 歩車道境界ブロック	m	17			平ブロック (L型側溝) SP 24号表 数量コードB3B
-- 区画線工	式	1			
--- 区画線工	式	1			
---- 区画線設置〔熔融式手動〕 実線 15cm 塗布厚1.5mm 白	m	53			第 16号表 数量コードW1
---- 区画線設置〔熔融式手動〕 ゼブラ 45cm 塗布厚1.5mm 白	m	6			第 17号表 数量コードW2
-- 道路付属施設工	式	1			
--- 道路付属物工	式	1			
---- ディアウォール 300×300×2000 φ6×100×100 亜鉛アルミ合金めっき溶接金網	m	109			M0012 第 18号表
--- 照明工	式	1			

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 照明灯基礎設置工	基	3			M0015 土木工事標準積算基準書(電気通信編)8-3-53 第 20号表
---- 道路照明設備設置工	基	3			M0018 土木工事標準積算基準書(電気通信編)8-3-49 第 22号表
---- 道路付属構造物塗替工	基	2			M0019 第 25号表
-- 構造物撤去工	式	1			
--- 構造物取壊し工	式	1			
---- 無筋構造物とりこわし	m3	24			第 26号表 数量コードMC0
---- 無筋コンクリート取壊し運搬処分	m3	24			M0002 第 27号表 数量コードMC0
---- 舗装版切断	m	86			SP 31号表 数量コードHC
---- カッター汚泥処理・運搬	式	1			M0005 第 28号表

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 舗装版破碎	m ²	1,590			SP 32号表 数量コードHH
---- アスファルト取壊し運搬処分	m ³	80			M0004 数量コードASG
-- 取合工	式	1			第 30号表
--- 取合工	式	1			
---- 取合工	式	1			M0247 第 31号表
-- 仮設工	式	1			
--- 交通管理工	式	1			
---- 交通誘導警備員	式	1			第 36号表
直接工事費計					

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
工種区分 No. 6 舗装工事					
共通仮設費 (市街地 (DID補正) (1) - 1)	式	1			
雑木伐採	式	1			M0050
共通仮設費計					第 37号表
純工事費計					
現場管理費 (市街地 (DID補正) (1) - 1)	式	1			
工事原価計					
一般管理費等 (金銭の保証を必要とする)	式	1			
工事価格計					

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
消費税相当額	式	1			
請負工事費					

数量計算表									
測点 中間点 距離(m)			MC 機械掘削			ME 機械床掘			Rb 埋戻し
コ メ ン ト			数 量	平均値	立積 (06)	数 量	平均値	立積 (06)	数 量
1	+0.70	0.00	0.50			0.00			0.00
10	+0.00	8.30	0.50	0.500	4.150	0.00			0.00
45	+0.00	35.00	0.90	0.700	24.500	0.00			0.00
50	+0.00	5.00	0.90	0.900	4.500	0.00			0.00
75	+0.00	25.00	0.70	0.800	20.000	0.00			0.00
100	+0.00	25.00	1.00	0.850	21.250	0.00			0.00
119	+0.34	19.34	3.50	2.250	43.520	0.00			0.00
125	+0.00	5.66	3.30	3.400	19.240	0.00			0.00
150	+0.00	25.00	0.80	2.050	51.250	0.00			0.00
175	+0.00	25.00	0.70	0.750	18.750	0.00			0.00
200	+0.00	25.00	0.70	0.700	17.500	0.00			0.00
225	+0.00	25.00	0.60	0.650	16.250	0.00			0.00
250	+0.00	25.00	0.40	0.500	12.500	0.00			0.00
265	+0.96	15.96	0.50	0.450	7.180	0.00			0.00
265	+0.96	0.00	0.50	0.500		0.30	0.150		0.20 0.100
275	+0.00	9.04	0.50	0.500	4.520	0.30	0.300	2.710	0.20 0.200 1.810
300	+0.00	25.00	0.60	0.550	13.750	0.30	0.300	7.500	0.20 0.200 5.000
302	+0.57	2.57	0.60	0.600	1.540	0.30	0.300	0.770	0.20 0.200 0.510
合 計	300.87			(MC)	280.400		(ME)	10.980	(Rb) 7.320

舗装			数量計算表			測点間距離 1 m	
測点 中間点 距離(m) コメント			KH 仮舗装				
			数 量	平均値	面積 (1 1)		
1	+0.70	0.00	0.00				
10	+0.00	8.30	0.00				
45	+0.00	35.00	0.00				
50	+0.00	5.00	0.00				
75	+0.00	25.00	0.00				
100	+0.00	25.00	0.00				
119	+0.34	19.34	0.00				
125	+0.00	5.66	0.00				
150	+0.00	25.00	0.00				
175	+0.00	25.00	0.00				
200	+0.00	25.00	0.00				
225	+0.00	25.00	0.00				
250	+0.00	25.00	0.00				
265	+0.96	15.96	0.00				
265	+0.96	0.00	0.50	0.250			
275	+0.00	9.04	0.50	0.500	4.520		
300	+0.00	25.00	0.50	0.500	12.500		
302	+0.57	2.57	0.50	0.500	1.290		
合 計		300.87		(KH)	18.310		

延長計算表

数量計算名称	コード	起 点 測 点 中間点	終 点 測 点 中間点	数 量(m)
施工延長 測点間距離 1 m	L (03)	0 +0.00	302 +0.57	302.57
合 計				302.57

副産物			数 量 調 整 表		数量調整表優先
名 称	コード	計 算 式			
鉄筋コンクリート	T C o (0 2)	=	0		
		=	0.000		
				
無筋コンクリート	M C o (0 2)	=	23.8		
		=	23.800		
				
舗装版破碎	H H (0 8)	=	1592.1		
		=	1,592.100		
				
舗装版切断	H C (0 8)	=	86.2		
		=	86.200		
				
アスファルト殻	A S G (0 2)	=	HH * 0.05		
		=	1592.1 * 0.05		
		=	79.610		
				
樹木伐採	B (0 2)	=	3		
		=	3.000		

副産物

数量調整表

数量調整表優先

名 称	コード	計 算 式
低木伐採	T B (0 2)	= 45.4 = 45.400
カッター汚泥	H D (0 4)	= 0.023 * 0.05 * HC = 0.023 * 0.05 * 86.2 = 0.100

区画線

数 量 調 整 表			数量調整表優先
名 称	コード	計 算 式	
実線：150	W 1 (0 8)	= 5.73 + 4.61 + 42.16	
		= 52.500	
		
実線：450	W 2 (0 8)	= 2.14 + 4.20	
		= 6.340	

構造物			数量調整表	数量調整表優先
名 称	コード	計 算 式		
側溝延長	S L (0 2)	= 9.29 + 34.06 = 43.350		
街渠柵	S M (0 2)	= 1 = 1.000		
標準ブロック	K B 1 (0 2)	= 36.61 = 36.610		
切下用斜ブロック	K B 2 (0 2)	= 2.4 = 2.400		
乗入用平ブロック	K B 3 (0 2)	= 4 = 4.000		
平ブロック	K B 4 (0 2)	= 1.5 = 1.500		
切下用斜ブロックB	B 2 B (0 2)	= 0.60 + 0.60		

構造物			数量調整表	数量調整表優先
名 称	コード	計 算 式		
切下用斜ブロックB	B 2 B (0 2)	= 1. 200		
平ブロックB	B 3 B (0 2)	= 8. 63 + 8. 40 = 17. 030		
L型側溝	L S (0 2)	= 8. 63 + 8. 40 = 17. 030		
ディアウォール	DW (0 2)	= 34. 84 + 18. 9 + 55. 52 = 109. 260		

土工

数 量 調 整 表			数量調整表優先
名 称	コード	計 算 式	
床掘総量	Z M E (0 6)	<div>= ME + 0.163 * DW</div> <div>= 10.98 + 0.163 * 109.26</div> <div>= 28.790</div> <div>.....</div>	
埋戻し総量	Z R b (0 6)	<div>= Rb + 0.05 * DW</div> <div>= 7.32 + 0.05 * 109.26</div> <div>= 12.780</div>	

舗装工			数量調整表	数量調整表優先
名 称	コード	計 算 式		
歩道舗装	HHH (11)	= 1197.73 = 1,197.730		
歩道舗装 (乗入部)	HHN (11)	= 274.04 = 274.040		
表層 (車道)	HY (11)	= 73.51 + 20.18 + 30.05 + 98.09 = 221.830		
上層路盤	JR (11)	= 73.51 + 20.18 + 9.04 + 27.25 = 129.980		
下層路盤	KR (11)	= 73.51 + 20.18 + 5.69 + 17.03 = 116.410		
ILB舗装	ILH (11)	= 318.69 + 462.64 = 781.330		
ILB舗装乗入部	ILN (11)	= 87.36 + 98.11		

舗装工			数量調整表	数量調整表優先
名 称	コード	計 算 式		
ILB舗装乗入部	I L N (1 1)	= 185.470		
ILB舗装 (線路)	I S (0 2)	= 265.24 = 265.240		
ILB舗装(線路)乗入部	I S N (0 2)	= 56.06 = 56.060		
舗装工	Z H (1 1)	= HHH + HHN + HY = 1197.73 + 274.04 + 221.83 = 1,693.600		

残土 土 量 調 整 表			
** 発生土登録表 ** 発生土 変化率	** (発生土→埋戻土→盛土) 流用表 ** 発生土 - - - - 流用順位 - - - -	** 残土処理場指定表 ** 発生土 処理順位	** 残土処理容量指定 **
ZME 29 0.90		ZME 1 番目 Z10 29 → 29	Z10 99,999
MC 280 0.95		MC 1 番目 Z10 280 → 280	
			** 残土量合計 ** Z10 309

M O O O 1					
金 円 100 m3 当り					
残土運搬・処理 第2種建設発生土					
第 1号表					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
土砂等運搬		m3	100		SP 2号表
残土処分費 大河原事業(株) 島田市身成字向坂42-1		m3	120		
計					
単価		m3			

MO100埋戻し					
第 2号表					
金 円 100 m3 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
埋戻し	m3	100			SP 4号表
路床材 再生盛土材	m3	126			
計					
単価	m3				

M O O O 8					
路肩側溝工 φ150					
第 3号表					
金 円 10 m 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
路肩側溝据付 φ150	m	10			M0007 見積 第 4号表
路肩側溝 φ150 L=2000mm	本	5			見積
基礎碎石	m ²	3.3			SP 5号表
モルタル練	m ³	0.1			SP 6号表
計					
単価	m				

MOOO7					
路肩側溝据付 φ150					
第 4号表					
金	円	10 m 当り	見積		
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
普通作業員					1
	人				
土木一般世話役					1
	人				
ブロック工					1
	人				
バックホウ（クローラ式）（クレーン付）（排ガス対策型も同じ） 山積0.8m3（平積0.6）（吊能力2.9t）					1
	日				賃料
諸雑費					
	%				
計					
単価					
	m				

M O O O 6		L 型側溝		第 5 号表		
金 円		10 m 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
コンクリート		m 3	0. 2 9			SP 7号表
型枠		m 2	1. 8			SP 8号表
基礎碎石		m 2	4. 2			SP 5号表
計						
単価		m				

M O O O 9					
路肩側溝集水樹-11					
第 6号表					
金 円 10 箇所 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
プレキャスト集水樹	基	10			SP 9号表
排水構造物 蓋版 据付け (グレーチング 細目 T-25) 蓋版 (各種)	枚	10			第 7号表
路肩側溝集水樹 150用樹	基	10			
硬質ポリ塩化ビニル管 一般管VP 径150 長4.0m	本	9			
砂基礎工 人力施工	m 3	7			第 8号表
コンクリート削孔 (コンクリート穿孔機)	孔	10			SP 10号表
インパートコンクリート	m 3	0. 2			SP 11号表
計					

M O O O 9					
第 6号表					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
単価	箇所				

排水構造物 蓋版 据付け
蓋版 (各種) 第 7号表

金 円 1 枚 当り					
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
排水構造物工 (蓋版) 屋間単価 時間的制約 無 鋼製 40kg/枚以下 機・労	枚	1			1 標準単価 (基本額) [合計金額対象外]
[補正係数: 週休2日補正]	X				
補正後標準単価	枚	1			
蓋版	枚	1			
諸雑費	式	1			
計 (合計金額対象外は除く)					

1, #等: 諸経費等対象額

砂基礎工
人力施工

第 8号表

金 円 1 m3 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
砂基礎工 人力施工	m3	1			1 市場単価（基本額）〔合計金額対象外〕
〔補正係数：週休2日補正〕	X				
補正後市場単価	m3	1			
計（合計金額対象外は除く）					

MOO21					
特殊ブロック舗装 歩道					
第 9号表					
金 円 100 m2 当り					
積算項目	単位	数量	単価	金額	摘要
特殊ブロック舗装	m2	100			設置手間のみ SP 18号表
スリット平板ブロック 透水、ランダムスリット加工、t=60mm	m2	102			
計					
単価	m2				

MOO22					
特殊ブロック舗装 歩道 (乗入部)					
第 10号表					
金 円 100 m2 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
特殊ブロック舗装		m2	100		設置手間のみ SP 18号表
スリット平板ブロック 透水、ランダムスリット加工、t=80mm		m2	102		
計					
単価		m2			

MOO10 特殊ブロック舗装 線路部 第 11号表					
金 円 10 m 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
特殊ブロック舗装 歩道	m ²	14			M0021 第 9号表
特殊インターロッキングブロック設置、敷材設置 直線配置 ブロック厚6cm	m ²	2			第 12号表
計					
単価	m				

特殊インターロッキングブロック設置、敷材設置 直線配置 ブロック厚6cm					
第 12号表					
金	円	1 m2 当り			
積	算	項	目	単位	数量
単	価	金	額	摘	要
インターロッキングブロック工 直線配置、ブロック厚6cm		m2	1		1 市場単価（基本額）〔合計金額対象外〕
〔補正係数：週休2日補正〕		X			
補正後市場単価		m2	1		
控除額		m2	-1.02		
敷材料 砂 厚さ0.03m		m3	0.039		
特殊ブロック材料費		m2	1.02		
諸雑費		式	1		
計（合計金額対象外は除く）					

MOO11 特殊ブロック舗装 線路部 (乗入部) 第 13号表					
金 円 10 m 当り					
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
特殊ブロック舗装 歩道 (乗入部)	m ²	14			M0022 第 10号表
特殊インターロッキングブロック設置、敷材設置 直線配置 ブロック厚6cm	m ²	2			第 14号表
計					
単価	m				

特殊インターロッキングブロック設置、敷材設置 直線配置 ブロック厚6cm					
第 14号表					
金	円	1 m2 当り			
積	算	項	目	単位	数量
単	価	金	額	摘	要
インターロッキングブロック工 直線配置、ブロック厚6cm		m2	1		1 市場単価（基本額）〔合計金額対象外〕
〔補正係数：週休2日補正〕		X			
補正後市場単価		m2	1		
控除額		m2	-1.02		
敷材料 砂 厚さ0.02m		m3	0.026		
特殊ブロック材料費		m2	1.02		
諸雑費		式	1		
計（合計金額対象外は除く）					

MO110 L型止水テープ貼付け工					
第 15号表					
金	円	100 m 当り	見積		
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役					1
	人				
普通作業員					1
	人				
L型止水テープ 厚3mm 高50mm 底板長25mm	m	102			
プライマー (L型止水テープ) 切削断面用	L	3.15			
諸雑費					
	%				
計					
単価					
	m				

区画線設置〔熔融式手動〕 実線 15cm 塗布厚1.5mm 白					
第 16号表					
金 円 1000 m 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
区画線工（区画線設置工〔熔融式（手動）〕） 昼間単価 供用区間 実線 15cm 時間的制約 無 機・労	m	1,000			1 標準単価（基本額）〔合計金額対象外〕
〔補正係数：週休2日補正〕	X				
補正後標準単価	m	1,000			
路面表示用塗料 3種1号 JIS K 5665 熔融 ガラスビーズ含有量15-18% 白 比重2.0	k g	570			2
道路用塗料 ガラスビーズ JIS R3301 0.106-0.850mm	k g	25			2
接着用プライマー 区画線用 色 - 比重0.9	k g	25			2
軽油 パトロール給油	l	40			2
諸雑費	%				

第 16号表					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
計 (合計金額対象外は除く)					
単価	m				

<div> <div>区画線設置〔熔融式手動〕 ゼブラ 45cm 塗布厚1.5mm 白</div> <div>第 17号表</div> </div>					
金	円	1000 m 当り			
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
区画線工（区画線設置工 〔熔融式（手動）〕） 昼間単価 供用区間 ゼブラ 45cm 時間的制約 無 機・労	m	1,000			1 標準単価（基本額）〔合計金額対象外〕
〔補正係数：週休2日補正〕	X				
補正後標準単価	m	1,000			
路面表示用塗料 3種1号 JIS K 5665 熔融 ガラスビーズ含有量15-18% 白 比重2.0	kg	1,700			2
道路用塗料 ガラスビーズ JIS R3301 0.106-0.850mm	kg	75			2
接着用プライマー 区画線用 色 - 比重0.9	kg	75			2
軽油 パトロール給油	l	89			2
諸雑費	%				

第 17号表					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
計 (合計金額対象外は除く)					
単価	m				

MOO12					
ディアウォール 300×300×2000 φ6×100×100 亜鉛アルミ合金めっき溶接金網					
第 18号表					
金 円 10 m 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
ディアウォール 本体	m	10			見積
ディアウォール 側面	枚	2			見積
ディアウォール 上蓋	m	10			見積
ディアウォール設置工	m	10			M0013 見積 第 19号表
基礎碎石	m ²	3.5			SP 25号表
計					
単価	m				

MOO13		ディアウォール設置工				第 19号表
金	円	10 m 当り	見積			
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
普通作業員		人				組立
普通作業員		人				石詰
割栗石 5 - 15cm		m3	0.86			
計						
単価		m				

MO015		照明灯基礎設置工				第 20号表
金	円	10 基 当り	土木工事標準積算基準書(電気通信編)8-3-53			
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
照明灯基礎 500φ2m以下		基	10			M0014 土木工事標準積算基準書(電気通信編)8-3-53 第 21号表
生コンクリート (高炉) 18-8-40-BB		m3	3			
スパイラルダクト (亜鉛引き)直管4m 口径500mm×厚0.6mm		m	16			
計						
単価		基				

MOO14

照明灯基礎
500φ2m以下

第 21号表

金 円

10 基 当り

土木工事標準積算基準書(電気通信編)8-3-53

積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
アースオーガ(単体) [単軸式・電動式] 掘削径φ320・600mm最大掘削長35m	時、日				換算損料 (損料表13欄)
普通作業員	人				
計					
単価	基				

M O O 1 8

道路照明設備設置工

第 22号表

金 円 10 基 当り

土木工事標準積算基準書(電気通信編)8-3-49

積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
道路照明灯建柱 高さGL8-12m 重量350kg以下	基	10			M0016 土木工事標準積算基準書(電気通信編)8-3-49 第 23号表
道路照明灯撤去 高さGL8-12m 重量350kg以下	基	10			M0017 土木工事標準積算基準書(電気通信編)8-3-49 第 24号表
計					
単価	基				

MOO16			道路照明灯建柱 高さGL8-12m 重量350kg以下		第 23号表	
金	円	10 基 当り	土木工事標準積算基準書(電気通信編)8-3-49			
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
電工		人				
普通作業員		人				
トラッククレーン オペレータ付き ラチスジブ型、油圧伸縮ジブ型4.9t吊		日				賃料
計						
単価		基				

MOO17		道路照明灯撤去 高さGL8-12m 重量350kg以下		第 24号表		
金	円	10 基 当り	土木工事標準積算基準書(電気通信編)8-3-49			
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
電工		人				
普通作業員		人				
トラッククレーン オペレータ付き ラチスジブ型、油圧伸縮ジブ型4.9 t吊		日				賃料
計						
単価		基				

MOO19

道路付属構造物塗替工

第 25号表

金	円	10 基当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
素地調整		m 2	50			SP 26号表
付属構造物塗替		m 2	50			SP 27号表
付属構造物塗替		m 2	50			SP 28号表
付属構造物塗替		m 2	50			SP 29号表
計						
単価		基				

構造物とりこわし					
第 26号表					
金 円 1 m3 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
構造物とりこわし工（無筋構造物） 昼間単価 制約無 機械 機労	m3	1			1 標準単価（基本額）〔合計金額対象外〕
〔補正係数：週休2日補正〕	X				
補正後標準単価	m3	1			
諸雑費	式	1			
計（合計金額対象外は除く）					

MOO O 2 無筋コンクリート取壊し運搬処分					
第 27号表					
金 円 100 m3 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
設運搬	m3	100			SP 30号表
処分費 C o 無筋	m3	100			(株)紅林建材中間処理 藤枝市高洲82-4
計					
単価	m3				

M O O O 5					
カッター汚泥処理・運搬					
第 28号表					
金 円 1 式 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
トラック運搬 (D I D区間あり) 運搬距離：25.3km以下	台	1			第 29号表
アスファルト濁水処分費 マーセリサイクル(株) 静岡市葵区北2242-129	m3	0.1			数量コードHD
計					

トラック運搬 (DID区間あり)
運搬距離: 25.3 km以下
第 29号表

金 円 1 台 当 り					
積 算 項 目		単位	数 量	単 価	金 額
トラック運搬 2 t 積		時間			
諸 雑 費		式	1		
計					

MOOO4		アスファルト取壊し運搬処分				第 30号表
金 円 100 m3 当り						
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
殻運搬		m3	100			SP 33号表
処分費 As塊		m3	100			㈲D商事(株)藤枝工場 藤枝市稲川字大下891-2
計						
単価		m3				

MO247 取合工						第 31号表
金	円	1 式 当り				
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
駅名板設置	基	1			見積 第 32号表	M0246
床面サイン	枚	10			見積 第 33号表	M0020
背無ベンチ設置 KF-OWEB-F4A4(C) W1800	基	2			第 34号表	M0248
計						

MO246 駅名板設置					
第 32号表					
金	円	1 基 当り	見積		
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
駅名板 AN-9762-2	基	1			見積 印刷費込
普通作業員	人				
コンクリート	m3	0.35			SP 7号表
型枠	m2	2.4			SP 8号表
コンクリート	m3	0.05			SP 34号表
型枠	m2	1			SP 8号表
基礎碎石	m2	0.98			SP 5号表
計					

MOO20		床面サイン		第 33号表	
金	円	1 枚 当り		見積	
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
ステンレスホーロー板 300×300×1.2		枚	1		
普通作業員		人			
計					

MO248					
背無ベンチ設置 KF-QWEB-F4A4(C) W1800					
第 34号表					
金 円 10 基 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
背なしベンチ据付工 40kg以上50kg未満	基	10			建設物価 P449 第 35号表
コンクリート	m3	0.3			SP 35号表
型枠	m2	5			SP 8号表
基礎碎石	m2	2.4			SP 36号表
計					
単価	基				

背なしベンチ据付工 40kg以上50kg未満					
第 35号表					
金 円 10 基当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
ベンチ	基	10			
特殊作業員	人				
普通作業員	人				
諸 雑 費	式	1			
計					
単価	基				

交通誘導警備員

第 36号表

金 円 1 式 当り						
積 算 項 目		単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
交通誘導警備員B		人	156			52日、3人
計						

M O O 5 O 雑木伐採					
第 37号表					
金 円 1 式 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
支障木の伐採					M0242
	本	3			造園修景積算の手引きP521、522、523 第 38号表 数量コードB
支障木の伐根 幹周20c未満					M0244
	本	3			第 41号表 数量コードB
伐木・伐竹（伐木除根）					
	m2	45			SP 37号表 数量コードTB
除根（伐木除根）					
	m2	45			SP 38号表 数量コードTB
集積積み（機械施工）（伐木除根）					
	m2	45			SP 39号表 数量コードTB
運搬（伐木除根）					
	m3	45			SP 40号表 数量コードTB
計					

MO242 支障木の伐採					
第 38号表					
金 円 10 本 当り 造園修景積算の手引きP521、522、523					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
造園工	人				
普通作業員	人				
チェーンソー運転	日				M0243 第 39号表
トラック運搬 (D I D区間あり) 運搬距離：9.8km以下	台	0.05			第 40号表
諸雑費	式				
計					
単価	本				

MO243 チェンソー運転					
第 39号表					
金 円 1 日 当り					
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員					1
	人				
ガソリン JIS2号 レギュラースタンド					1
	L	2.7			
チェンソー [ガソリンエンジン] 鋸長600mmエンジン排気量0.080L					1
	時、日				換算損料 (損料表13欄)
諸雑費					
	%				
計					

トラック運搬 (DID区間あり)
運搬距離: 9.8 km以下
第 40号表

金 円 1 台 当り					
積 算 項 目		単位	数 量	単 価	金 額
トラック運搬 2 t 積		時間			
諸 雑 費		式	1		
計					

M O 2 4 4		支障木の伐根 幹周20cm未満		第 41号表		
金	円	10 本 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
普通作業員		人				
チェーンソー運転						M0245
		日				第 42号表
諸雑費		式				
計						
単価		本				

MO245 チェンソー運転					
第 42号表					
金 円 1 日 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員					1
	人				
ガソリン JIS2号 レギュラースタンド					1
	L	2.7			
チェンソー [ガソリンエンジン] 鋸長600mmエンジン排気量0.080L					1
	時、日				換算損料 (損料表13欄)
諸雑費					
	%				
計					

施 工 パ ッ ケ ー ジ 区 分 一 覧 表

名 称	内 容	
掘削	土質＝土砂，施工方法＝オープンカット，押土の有無＝無し，障害の有無＝無し，施工数量＝5，000m ³ 未満 ＊土砂の種類＝土砂（レキ質土）	SP 1号表
土砂等運搬	土砂等発生現場＝標準，積込機種・規格＝バックホウ山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ），土質＝土砂（岩塊・玉石混り土含む），DID区間の有無＝有り，運搬距離＝31.5km以下	SP 2号表
床掘り	土質＝土砂，施工方法＝上記以外（小規模） ＊土砂の種類＝土砂（レキ質土）	SP 3号表
埋戻し	施工方法＝上記以外（小規模），土質＝土砂 ＊土砂の種類＝土砂（レキ質土）	SP 4号表
基礎碎石	碎石の厚さ＝7.5cmを超え12.5cm以下，碎石＝碎石の種類 選択 &碎石規格＝再生クラッシャーラン（RC-40）	SP 5号表
モルタル練	セメント種類＝セメント規格 選択 &セメント規格＝普通セメント 25kg袋入り	SP 6号表
コンクリート	構造物種別＝小型構造物，打設工法＝人力打設，コンクリート規格＝コンクリート規格 選択，養生工の種類＝一般養生，現場内小運搬の有無＝無し &コンクリート規格＝18-8-25（20）-BB	SP 7号表
型枠	型枠の種類＝一般型枠，構造物の種類＝均しコンクリート	SP 8号表
プレキャスト集水桝	作業区分＝据付，製品質量（kg／基）＝80kgを超え200kg以下，基礎碎石の有無＝無し	SP 9号表

施 工 パ ッ ケ ー ジ 区 分 一 覧 表

名 称	内 容	
コンクリート削孔 (コンクリート穿孔機)	削孔径＝１２８mm以上１６０mm未満，削孔深さ＝５０mm以上２００mm未満	SP 10号表
コンクリート	構造物種別＝小型構造物，打設工法＝人力打設，コンクリート規格＝コンクリート規格 選択，養生工の種類＝一般養生，現場内小運搬の有無＝無し &コンクリート規格＝１８－８－２５（２０）－ＢＢ Ｗ／Ｃ ６０％以下	SP 11号表
下層路盤 (車道・路肩部)	施工区分＝１層施工，材料＝路盤材 選択 ＊全仕上り厚＝１５０mm，&路盤材規格＝再生下層路盤材 ４０－０	SP 12号表
上層路盤 (車道・路肩部)	材料＝粒度調整砕石 選択，施工区分＝１層施工 ＊全仕上り厚＝１５０mm，&路盤材規格＝粒度調整砕石（M－３０）	SP 13号表
表層 (車道・路肩部)	平均幅員＝１．４m以上３．０m以下，材料＝密粒度アスコン 選択，瀝青材料種類＝プライムコート 選択 &アスコン規格＝再生密粒度アスコン（１３） A配合，＊１層当り平均仕上り厚＝５０mm，&瀝青材料規格＝プライムコート P K－３	SP 14号表
表層 (歩道部)	平均幅員＝１．４m未満（１層当り平均仕上り厚５０mm以下），材料＝密粒度アスコン 選択，瀝青材料種類＝無し &アスコン規格＝再生密粒度アスコン（１３） A配合，＊１層当り平均仕上り厚＝３０mm	SP 15号表
下層路盤 (歩道部)	施工区分＝１層施工，材料＝路盤材 選択 ＊全仕上り厚＝１００mm，&路盤材規格＝再生下層路盤材 ４０－０	SP 16号表
下層路盤 (歩道部)	施工区分＝１層施工，材料＝路盤材 選択 ＊全仕上り厚＝１５０mm，&路盤材規格＝再生下層路盤材 ４０－０	SP 17号表
特殊ブロック舗装	作業区分＝設置，ブロック規格＝３０cm×３０cm	SP 18号表

施 工 パ ッ ケ ー ジ 区 分 一 覧 表

名 称	内 容	
歩車道境界ブロック	作業区分＝設置，ブロック規格＝各種（600mm以下、50kg未満），基礎碎石の有無＝有り，均し基礎コンクリート規格＝無し ＊歩車道境界ブロック（各種），&基礎碎石（標準値＝1）＝再生クラッシャーラン RC-40	SP 19号表
歩車道境界ブロック	作業区分＝設置，ブロック規格＝各種（600mm以下、50kg未満），基礎碎石の有無＝有り，均し基礎コンクリート規格＝無し ＊歩車道境界ブロック（各種），&基礎碎石（標準値＝1）＝再生クラッシャーラン RC-40	SP 20号表
歩車道境界ブロック	作業区分＝設置，ブロック規格＝各種（600mm以下、50kg未満），基礎碎石の有無＝有り，均し基礎コンクリート規格＝無し ＊歩車道境界ブロック（各種），&基礎碎石（標準値＝1）＝再生クラッシャーラン RC-40	SP 21号表
歩車道境界ブロック	作業区分＝設置，ブロック規格＝各種（600mm以下、50kg未満），基礎碎石の有無＝有り，均し基礎コンクリート規格＝無し ＊歩車道境界ブロック（各種），&基礎碎石（標準値＝1）＝再生クラッシャーラン RC-40	SP 22号表
歩車道境界ブロック	作業区分＝設置，ブロック規格＝各種（600mm以下、50kg未満），基礎碎石の有無＝無し，均し基礎コンクリート規格＝無し ＊歩車道境界ブロック（各種）	SP 23号表
歩車道境界ブロック	作業区分＝設置，ブロック規格＝各種（600mm以下、50kg未満），基礎碎石の有無＝無し，均し基礎コンクリート規格＝無し ＊歩車道境界ブロック（各種）	SP 24号表
基礎碎石	碎石の厚さ＝12.5cmを超え17.5cm以下，碎石＝碎石の種類 選択 &碎石規格＝再生クラッシャーラン（RC-40）	SP 25号表








施 工 パ ッ ケ ー ジ 区 分 一 覧 表

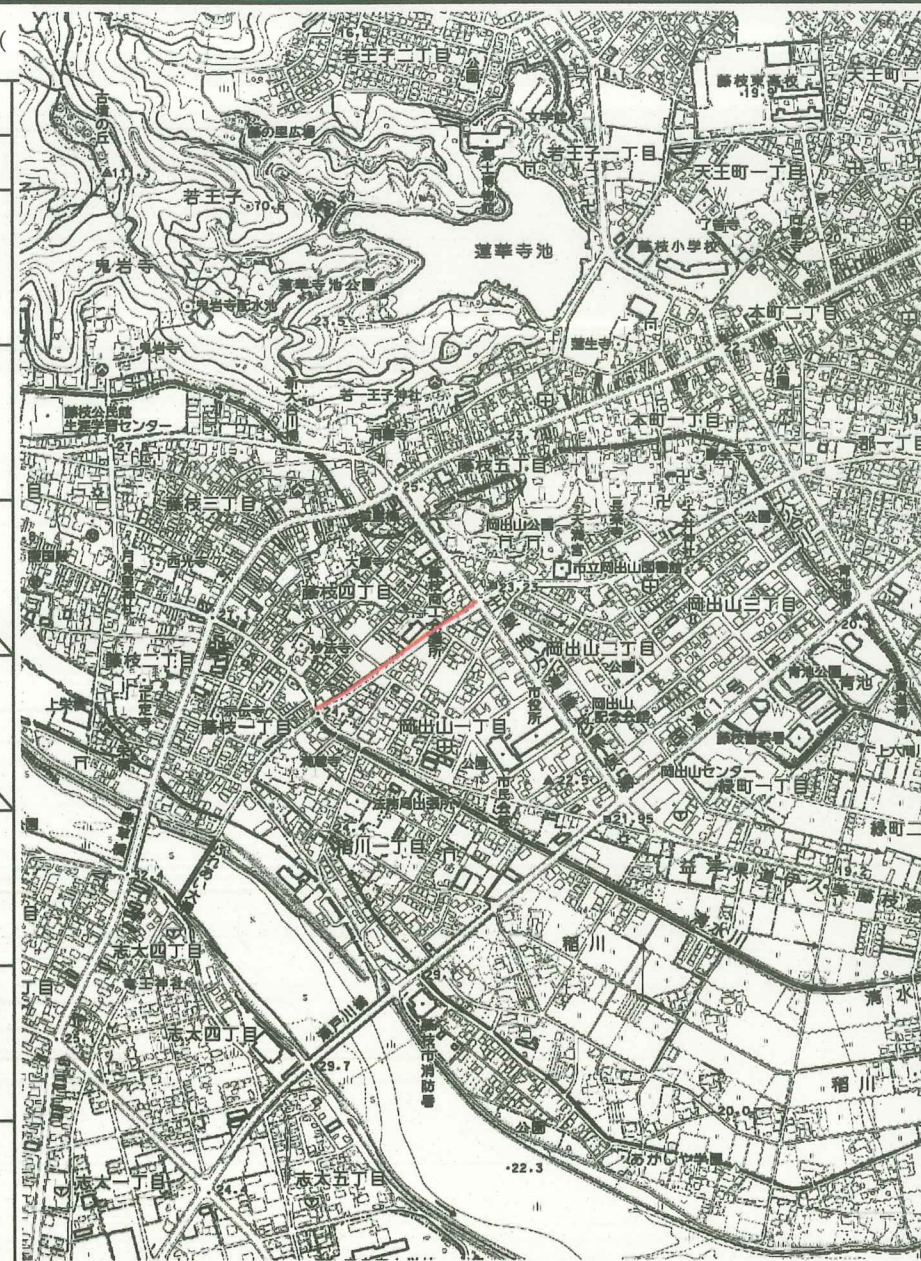
名 称	内 容	
素地調整	構造物区分＝全高４ｍ以上１０ｍ未満のポール類，機械使用区分＝持込	SP 26号表
付属構造物塗替	塗装種別＝鉛・クロムフリーさび止めペイント 下塗 淡彩，構造物区分＝全高４ｍ以上１０ｍ未満のポール類，機械使用区分＝持込 ＊塗料	SP 27号表
付属構造物塗替	塗装種別＝長油性フタル酸樹脂塗料 中塗，構造物区分＝全高４ｍ以上１０ｍ未満のポール類，機械使用区分＝持込 &塗料規格＝長油性フタル酸樹脂塗料２種 中塗用 淡彩色	SP 28号表
付属構造物塗替	塗装種別＝長油性フタル酸樹脂塗料 上塗，構造物区分＝全高４ｍ以上１０ｍ未満のポール類，機械使用区分＝持込 &塗料規格＝長油性フタル酸樹脂塗料２種 上塗用 淡彩色	SP 29号表
殻運搬	殻発生作業＝コンクリート（無筋）構造物とりこわし，積込工法区分＝機械積込，ＤＩＤ区間の有無＝有り，運搬距離（ｋｍ）＝５．７ｋｍ以下	SP 30号表
舗装版切断	舗装版種別＝アスファルト舗装版，アスファルト舗装版厚＝１５ｃｍ以下	SP 31号表
舗装版破碎	舗装版種別＝アスファルト舗装版，障害等の有無＝無し，騒音振動対策＝不要，舗装版厚＝１５ｃｍ以下，積込作業の有無＝有り	SP 32号表
殻運搬	殻発生作業＝舗装版破碎，積込工法区分＝機械積込（騒音対策不要，舗装版厚１５ｃｍ以下），ＤＩＤ区間の有無＝有り，運搬距離（ｋｍ）＝３．５ｋｍ以下	SP 33号表
コンクリート	構造物種別＝無筋・鉄筋構造物，打設工法＝人力打設，コンクリート規格＝コンクリート規格 選択，養生工の種類＝養生無し，現場内小運搬の有無＝無し &コンクリート規格＝１８－８－２５（２０）－ＢＢ	SP 34号表

施 工 パ ッ ケ ー ジ 区 分 一 覧 表

名 称	内 容	
コンクリート	構造物種別＝小型構造物，打設工法＝人力打設，コンクリート規格＝コンクリート規格 選択，養生工の種類＝一般養生，現場内 小運搬の有無＝無し &コンクリート規格＝18-8-40-BB W/C 60%以下	SP 35号表
基礎碎石	碎石の厚さ＝7.5cm以下，碎石＝碎石の種類 選択 &碎石規格＝再生クラッシャーラン（RC-40）	SP 36号表
伐木・伐竹（伐木除根）	樹木・竹の区分 樹木密集度及び施工区分＝伐木（人力施工：粗）（10本／100m2 未満）	SP 37号表
除根（伐木除根）	除根（伐木除根）＝除根（伐木除根）	SP 38号表
集積積み（機械施工）（伐木除根）	除根作業の有無＝有り	SP 39号表
運搬（伐木除根）	積込条件＝機械施工，除根作業の有無＝有り，DID区間の有無＝有り，運搬距離＝6.0km以下	SP 40号表

地下埋設物調書

埋設物	埋設状況			管理者	
	縦方向	横方向	特殊箇所	市	管理側
水道管	Vφ75	無し	給水管有 ※要立会		上水道課
ガス管	ポリエチレン管 φ50mm、φ100mm	ポリエチレン管 φ50mm、φ100mm	なし		東海ガス(株)
大井川広域 水道企業団	施設管理図により無いことを確認した。				
大井川土地 改良区	施設管理図により無いことを確認した。				
N T T ケーブル	影響なし	影響なし	影響なし		NDS(株)
中部電力 ケーブル	影響なし	影響なし	影響なし		中部電力 パワーグ リッド(株)
下水道管	VU250φ 要立会	VU250φ 要立会	なし		下水道課



個人情報取扱特記仕様書

1 基本的事項

受注者は、個人情報の保護の重要性を認識し、この契約による事務の実施に当たっては、個人の権利利益を侵害することのないよう、個人情報を適切に取り扱わなければならない。

2 秘密の保持

受注者は、この契約による事務に関して知ることができた個人情報をみだりに他人に知らせてはならない。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

3 収集の制限

- (1) 受注者は、この契約による事務を処理するために個人情報を収集するときは、事務の目的を明確にするとともに、事務の目的を達成するために必要な範囲内で、適法かつ公正な手段により行わなければならない。
- (2) 受注者は、この契約による事務を処理するために個人情報を収集するときは、本人から収集し、本人以外から収集するときは、本人の同意を得た上で収集しなければならない。

4 利用及び提供の制限

受注者は、この契約による事務に関して知り得た個人情報を契約の目的以外の目的のために利用し、又は第三者に提供してはならない。

5 適正管理

受注者は、この契約による事務に関して知り得た個人情報の漏えい、滅失及びき損の防止その他の個人情報の適切な管理のために必要な措置を講じなければならない。

6 複写又は複製の禁止

受注者は、この契約による事務を処理するために発注者から引き渡された個人情報が記録された資料等を、複写し、又は複製してはならない。

7 再委託の禁止

受注者は、この契約による事務を行うための個人情報の処理は、自ら行うものとし、発注者が承諾した場合を除き、第三者にその処理を委託してはならない。

8 資料等の返済等

受注者は、この契約による事務を処理するために発注者から引き渡され、又は受注者自らが収集し、若しくは作成した個人情報が記録された資料等は、事務完了後直ちに発注者に返還し、又は引き渡すものとする。ただし、発注者が別に指示したときは、その指示に従うものとする。

9 従事者への周知

受注者は、この契約による事務に従事している者に対して、在職中及び退職後において、その事務に関して知り得た個人情報を他に漏らしてはならないこと及び契約の目的以外の目的に使用してはならないことなど、個人情報の保護に関し必要な事項を周知するものとする。

10 実地調査

発注者は、必要があると認めるときは、受注者がこの契約による事務の執行に当たり取扱っている個人情報の状況について、随時実地に調査することができる。

11 事故報告

受注者は、この契約に違反する事態が生じ、又は生じるおそれのあることを知ったときは速やかに発注者に報告し、発注者の指示に従うものとする。

障害者差別解消法等に基づく差別的取扱いの禁止及び合理的配慮の提供についての留意事項に関する特記事項

（受注者の責務）

障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成 25 年法律第 65 号）第 10 条第 1 項の規定に基づく「藤枝市における障害を理由とする差別を解消するための職員対応要領」(平成 28 年 3 月 11 日藤枝市長決定)第 2 条に規定する不当な差別的取扱いの禁止及び第 3 条に規定する合理的配慮の提供について留意すること。

交通誘導員の配置に関する特記仕様書（標準）

（交通誘導員の設計計上数量）

第1条 本工事の施工に際しては、設計書に計上した交通誘導員の人員を配置する。なお、配置場所等については、監督員と協議するものとする。

（安全対策）

第2条 受注者は、工事の施工に当たって交通整理等を行うときは、公共工事の円滑な執行に資することを理解し、事故のないよう適正に工事を実施しなければならない。

2 受注者は、工事の施工にあたって、交通整理等を行うときは、配置人員、配置位置及び配置期間等について、監督員と協議を行わなければならない。また、計画に変更が生じた場合も同様とする。

3 受注者は、工事の施工にあたって交通整理等を行った場合、工事完了時に実施内容の判る写真、交通誘導員勤務実績表を併せて提出しなければならない。

（その他）

第3条 交通誘導員は、原則、警備業法（昭和47年法律第117号一部改正平成16年法律第50号）第4条による認定を受けた警備業者の警備員を配置するものとする。

2 現場代理人は、交通誘導員について、住民等から意見があった場合は、速やかに監督員へ報告し、協議を行うものとする。

3 現場代理人は、交通誘導員の点呼を取り、交通誘導員の健康状態や交通整理状況を常時把握し、異常のあるときは速やかに警備会社へ連絡し、交替を要請するとともに、交替要員が現場に到着するまでの間、交通誘導を要する現場作業は控えるものとする。

4 現場代理人は、施工区域内において、複数の他工事が重複する場合は、事故の未然防止及び安全対策に万全を期するとともに、他工事との調整等を図るなかで、交通誘導員を適正に配置するものとする。

工事写真の電子データに関する特記仕様書

第1条（工事写真の提出）

当該工事（以下「本工事」という。）の工事写真を電子データの対象とするか否か、受注時に発注者、受注者協議の上、選択できるものとする。対象とした場合に必要な事項を以下のとおり定める。

第2条（工事写真）

工事写真は「写真管理基準」により撮影したものを指す。

第3条（電子データの作成）

電子データは、国土交通省版の「デジタル写真管理情報基準」に基づいて作成するものとする。

第4条（提出方法）

納品は要領に基づいて作成した電子データを電子媒体（CD-R）で2部提出する。

なお、納品の際には事前にエラーチェックを行い、エラーが無いことを確認した後、ウイルス対策を実施したうえで納品するものとする。

第5条（定めなき事項）

本仕様書および共通仕様書に定めのない事項や疑義が生じた場合は、必要に応じ監督員と協議するものとする。

情報共有システム（ASP）の活用に関する特記仕様書

第1条（情報共有システムの活用）

本工事は、発注者及び受注者の間の情報を電子的に交換・共有することにより業務の効率化を図る情報共有システム(ASP)の対象工事である。実施にあたっては「藤枝市における情報共有システム活用要領」及び「藤枝市における情報共有システム活用の手引き」に基づき実施する。受注者は、情報共有システムの利用の有無を発注者と協議し決定する。利用する場合に必要な事項を以下のとおり定める。

第2条（システムの選定）

受注者は、本工事で使用する情報共有システムを選定し、発注者と協議し承諾を得なければならない。利用する情報共有システムは次の要件を満たすものとする。

- ・「土木工事」の場合

工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件 （最新版）

（国土交通省）

- ・「建築・建築設備工事」の場合

工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件 営繕工事編 （最新版）

（国土交通省大臣官房官庁営繕部 整備課施設評価室）

第3条（利用契約）

発注者及び受注者が使用する情報共有システムのサービス提供者との契約は、受注者が行うものとする。また、利用開始日、必要なユーザーID数やワークフロー機能の対象者等については、「事前協議チェックシート」に基づき、担当監督員と協議するものとする。

第4条（費用負担）

情報共有システムを利用する発注者及び受注者の費用は、情報共有システムへの登録料及び使用料であり、設計図書における経費のうち、共通仮設費の率分（技術管理費）に含まれるものとし、受注者の負担とする。

遠隔臨場の試行に関する特記仕様書

本工事（業務）は、遠隔臨場の試行の対象であり、受発注者間の調整により、遠隔臨場を実施することができる。

（定義）

第1条 遠隔臨場とは、建設現場において、モバイル端末等による映像と音声の双方向通信を用いた立会・段階確認及び検査のことをいう。

（適用）

第2条 遠隔臨場は、受注者がモバイル端末等で撮影した映像と音声を監督員又は検査員等にリアルタイム配信を行い、双方向通信により相互に確認を行うことにより、必要とする情報の入手が可能と監督員又は検査員が判断した場合に限り、臨場又は実地に替えることができるものとする。

（実施方法）

第3条 受注者は、遠隔臨場を行う場合、以下の作業を実施する。

（1）事前調整

受注者は、監督員と遠隔臨場の実施日時、適用（確認する項目・内容）、仕様（使用する機器・アプリケーションまたはサービス）、その他必要な事項について調整する。なお、電話、メール等での調整を可とする。

（2）実施記録

受注者は、遠隔臨場が行われた証拠として、通信履歴の画面キャプチャ（写真）、通話中の監督員又は検査員の映像を含む写真等のいずれかの記録を行うものとする。

遠隔臨場が行われた内容の記録は、監督員又は検査員の臨場又は実地に替えて黒板に遠隔臨場であることを明記した写真により行うものとする。

（実施手続）

第4条 遠隔臨場は、以下の手順により実施する。

（1）事前調整

受注者は、遠隔臨場の実施について、監督員と事前調整する。

（2）立会・段階確認、検査の申請

受注者は、遠隔臨場を実施する場合、段階確認・立会願（第2号様式）の確認項目欄又は検査依頼書の検査の種類欄に遠隔臨場であることを明記する。実施日時等の取扱いは、臨場の場合と同様とする。

ただし、監督員又は検査員が臨場の必要があると判断した場合は、遠隔臨場による申請を行った場合においても、臨場により実施するものとする。

（3）立会・段階確認、検査の実施

受注者は、実施予定日時に、監督員又は検査員に対して通信を開始して実施する。

ただし、監督員又は検査員が必要とする情報が得られないと判断した場合は、遠隔臨場を中止し、通常の臨場による確認を実施するものとする。

（4）立会・段階確認、検査の確認

受注者は、遠隔臨場による立会・段階確認を実施した場合、段階確認・立会願（第2号様式）の確認書に、実施記録を添付し監督員に提出するものとし、遠隔臨場による検査を実施した場合は、検査終了後速やかに実施記録を監督員経由で検査員に提出するものとする。

(機材等の手配・仕様)

第5条 受注者は、以下の項目により遠隔臨場に必要な機器等を準備するものとする。

- (1) 受注者は、現場で必要となるモバイル端末及び通信回線等の準備を行う。
- (2) 発注者は、発注者が保有するインターネット通信が可能なタブレット端末等を利用する。
- (3) 利用するアプリケーションまたはサービスは、発注者が保有するタブレット端末等で利用が可能であり、かつ、発注者の利用に際して新たな費用負担が生じないものを受注者が選定する。

(費用)

第6条 受注者が行う機材等の手配に要する経費は、共通仮設費（業務の場合は諸経費）の率分に含まれるものとし、別途計上しない。

(調査への協力)

第7条 受注者は、遠隔臨場を実施した場合、有効性や効果、課題等について把握するためのアンケート調査等に協力する。

藤枝市週休２日工事（土木工事）特記仕様書

（目的）

第１条 本特記仕様書は、公共工事の品質確保並びにその担い手の中長期的な育成及び確保が重要な課題となっていることに鑑み、建設現場における休日確保型工事の実施に伴い必要となる経費を適切に計上することにより、週休２日の取得が可能な環境づくりを推進し、その労働環境の改善を目的とする。

（用語の定義）

第２条 この要領において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

- (1) 対象期間 工事着手日（準備期間を除く。）から工事完成日（後片付け期間を除く。）までの期間のことをいう。ただし、年末年始休暇（６日間）、夏季休暇（３日間）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている期間は含まない。
- (2) 休工日 対象期間において、現場事務所での事務作業を含め１日を通して現場や現場事務所が閉所された日（巡回パトロール・保守点検等、現場管理上必要な作業のみを行う場合は休工日に含む。）をいう。
- (3) 現場閉所率 対象期間における休工日の割合（休工日数／対象期間日数）を百分率で表示したものをいう。
- (4) 月単位の週休２日 対象期間の全ての月において、週休２日の状態をいう。
ただし、土曜日、日曜日の日数の割合が２８．５％に満たない月においては、当該月の土曜日、日曜日の合計日数以上の現場閉所を行っている状態をいう。
- (5) 通期の週休２日 対象期間の現場閉所率が２８．５％以上の状態をいう。

（費用の計上）

第３条 週休２日工事の費用計上は、対象期間中の現場の閉所状況に応じ、静岡県が定める「週休２日推進工事積算要領」の規定に準じ、補正係数を乗じて行うものとする。

（実施方法）

第４条 週休２日工事の実施方法は、次のとおりとする。

- (1) 受注者は、現場着手日までに４週８休以上の休工日取得計画表を監督員に提出しこれに基づき施工を行う。
- (2) 受注者は、計画に変更が生じた場合には、その都度、変更した休工日取得計画表を監督員に提出する。
- (3) 監督員は、受注者に工事記録簿等の資料の提出を求め、休工日及び現場閉所率について確認を行う。なお、４週８休以上の休工日が確保できなかった場合には、静岡県週休２日推進工事（土木工事）実施要領の規定に準じ、現場閉所率に応じた費用計上

による減額変更契約を行うものとする。

(工期設定の条件)

第5条 設定された工期に見込まれている特記事項は、次のとおりとする。

- (1) 雨休率 休日と降雨降雪及び猛暑日数の年間の発生率をいう。この場合において、休日は、日曜日及び土曜日、祝日、年末年始休暇（6日）並びに夏季休暇（3日）とし、降雨降雪及び猛暑日数は地域ごとに算出が困難なため、「0.9」とする。

ただし、猛暑期間（6月～9月）外の工事については、猛暑日を考慮しない雨休率「0.8」とする。

- (2) 工事の性格 () 日
(3) 地域の事情 () 日
(4) 自然条件 () 日
(5) その他 () 日

令和7年度（都再）市道青木藤枝線（藤枝四丁目）道路施設高質空間形成工事
特記仕様書

設定工期について

本工事は施工延長区間に交差点（NO. 0～NO. 119.34とNO. 125～NO. 302.57）を含んでいるため、2班編成での施工を計画し、工期を設定しているものである。

（参考図）

